

トムトムはハンディのある方とそこご家族のための会員制のサービスセンターです。 第 14 号

2004年 5月発行

# トムトム通信



## 山本さん、ありがとう

1999年7月のトムトム設立当初から勤務の、皆様もご存知の常勤スタッフ 山本奈央さんが、このたび1年間の休職期間を経て、正式にトムトムを離れることとなりました。5年前の立ち上げ時期に、常勤として名乗りをあげてくれた彼女の存在は、当時、暗中模索のトムトムにとって、何にもかえがたい、大切な財産となりました。何もかもが初めてのこのトムトムの中で、苦労を苦労とも思わずに駆け抜けてくれたその姿には、トムトムの誰もが励まされたものでした。彼女が体現してくれたトムトムの理念「利用者主体のサービス」を、会員の皆様のご意見をいただきながら、今後も守っていきたいと思います。

### 退職にあたってのご挨拶

山本 奈央

ご挨拶が遅れましたが、この3月末をもって退職させていただきました。皆さまには大変お世話になりました。トムトムにかかわるすべての方がたにお礼申し上げます。

昨年の春、不眠・頭痛・意欲がわからない等のうつ症状が現れ、仕事ができなくなりました。休職させていただき元気になりましたが、トムトムの仕事を再び始める自信だけではどうしても取戻すことができず、退職を決意しました。

昨年は、組織としてのトムトムの転換期でした。私自身も、変わっていかねばならないと分かってはいても、この方向でいいのか不安で混乱していました。今振り返ると、私自身の資質と状況がタイミング悪くかみ合ってしまった。うつ状態の原因になったのだと思います。

何を見ても何も感じられず、すべてのことに意欲がもてないという状態はとてつらいものです。そんな状態から抜け出せたのは、ひとつには休職により時間的余裕ができたためですが、それにも増して大きかったのは、トムトム関係者の方がたからのお心遣い、そしてトムトムでのたくさんの楽しい思い出のおかげでした。トムトムでの仕事がつらい状態の原因でしたが、そこから救い出してくれたのもまたトムトムだったのです。仕事を続けていくことはできなくなりましたが、人を癒すことができる人たちが集まるトムトムで働いたことは、私の誇りです。

退職にあたって「お役に立てずに申し訳ない」という思いがあり、皆さんにも「こき使ってごめん」という気持ちがあるかも？かもしれません。でも、もうそれはお互い言わないことにしましょう。そんな気持ちで成り立っていくトムトムは、終わりにしなければなりません。私はこれからの人生を、迷いつつも精一杯生きていこうと思います。皆さまもそうでありますように。そしてまたどこかで出会い、再会を喜び合えますように。お元気で。

### もくじ

退職にあたってのご挨拶 山本奈央	1
職員紹介!	2
	3
今年もアメニティに行ってきました! 研修報告	4
	5
シリーズ リレートーク	6
リレートーク/お知らせ	7
お知らせ	8

\*\*\*\*\*  
 トムトムの理念  
 \*\*\*\*\*  
 ハンディのある方と  
 のご家族が地域の暮らし  
 の中でノーマライゼー  
 ションを実現するために  
 は利用者が選択できる豊  
 かなサービスが必要で  
 す。トムトムはパーソナ  
 ルサービスを提供するシ  
 ステムの中で、年齢やそ  
 の障がいの種別にかかわ  
 らず利用者主体のサービ  
 スの確立をめざします。  
 \*\*\*\*\*

# 職員紹介



常勤:本間 太郎

トムトムに来て、山あり谷あり気がつけば、すばらしい出会いの中で3年たちました。長いような短いような・・・苦労もないと言えはウソになりますが、やりがいのあるいい所に巡り逢えたのは何かの縁だと思います。特に今後は、トムトムの将来と自分の体重の行方をあやまらないように努力していきたいと思っています。



常勤: 東 真巳

会員の皆様や非常勤スタッフの方々にはいつもお願いばかりでご迷惑を掛けてばかりですが、いつもトムトムの利用を楽しみにしてもらえようサービスを提供できるよう努力していきたいと思っています。今年度もよろしくお願ひします。



職員会議の後にバ千里！職員全員が集まるのはなかなか嬉しいです・・・



当事者として立ち上げの時より会計に携わり、昨年の6月より常勤として事務局で働かせて頂いています。

事務局:加藤 里恵



加藤 美佐子  
利用者さんから元気ももらっています。



小澤 幸子  
トムトムでの仕事も一年、子ども達の笑顔が大好きです。



高橋 孝子  
趣味は合唱。家では中高生男の子2人の母親です。



玉 キルスン  
教えてもらいながら・・・許してもらいながら・・・楽しく遊べたらいいな・・・



松尾 弘子  
宜しくお願いします。



鎌田 佐知子  
ヘルパーとしてはまだまだですが、地域で生活する皆さんと共に一歩ずつ進んでいきたいと思っています。



浅倉 せつ子  
微力ですが、お子様達との大切な時間を有意義に過ごせたらと思っております。宜しくお願い致します。



榎元 祐子  
たくさんの人と出会えるのが楽しみです。楽しく過ごせるように頑張りますので、宜しくお願い致します。



品田 直実  
大きな体と大きな心で“ドン”と受けとめます。みなさんの笑顔が大好きです。よろしくお願ひします。



大塚 久香  
この春で丸4年！（今まで一番長い勤続年数になってます。）何故こんなに続いているのかは自分でもわからないのですが、子ども達の魅力かな？）今後もボチボチやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



滝口 良  
非力ながら、ご協力させていただきます。



中島 和子  
障がいのある人と一緒にいるとホッとします。だって私は自閉症の人にもいのですごく似ているから。ヨロシクネ。



川島 民子  
月に数回なので、お役に立てないで心苦しく思っております。自分の父が透析に通っており、笑顔の大切さを痛感しております。私の顔を覚えていてくれ、車の中から手を振ってくれたり、笑ってくれたりしてくれるのがとても嬉しく、お仕事ではなく、自分の勉強のつもりでやらせていただいております。これからもよろしくお願いいたします。



松尾 紀子  
トムトムがNPO法人になる前より・・・というより立ち上がりと同時に一緒にさせて頂いています。皆さんから学び、そして元気をいただいてここまで来ました。みーんなどんどん成長なさって、そろそろおいつけなくなりました。背のびをしながら、これからもよろしくお願いいたします。



道躰 慶一  
去年からお世話になってます。若者として元気良く頑張っていきます！



戸倉 しのぶ  
利用者の皆様との出会いを大切にしていきたいと思っています。



山口 大輔  
茅ヶ崎生まれ、茅ヶ崎育ちの28才B型です。地元、萩園中学に通っていました。少しでも皆さんの足を引っばらない様に頑張ります。



井口 一之  
先日ある人に「車椅子で、金沢への空の旅をしたね。あの頃はよかったね」という話になりました。サテ今は？もっと良く今を、そして明日を更にもっと！



早川 弥寿子  
トムトムの利用者の方達から頂く言葉や笑顔を大切に、パワーの源にして一生懸命、頑張ります。



宮地 省子  
子ども達の限りないパワーと優しさを明日への活力として頑張ります。



市川 ひとみ  
たくさん素敵な笑顔に出会え、人としても成長させていただいたと思っています。今は保育園に勤めていますが、トムトムで学んだことを生かしていきたいです。ありがとうございます。また今度・・・(´▽`)

小俣 和子  
トムトムは昨年4月より勤務させて頂いております。月に4～8回程なので、皆様にお目にかかる機会はありませんが、これからもよろしくお願いいたします。

# 今年もアメニティーに行ってきました！

報告手記：加藤 里恵

2004/2/20～2/22「アメニティーフォーラムin滋賀」開催。

トムトム設立以来、滋賀県大津市で年に一度開催される大規模なフォーラムに、職員や理事が研修に出かけています。1年目は上杉と柏原。2年目は山本と眞木(旧姓:角田)。3年目は山本と本間。4年目は東でした。そして今年も、幸崎と私、加藤が行ってきました。今回、参加者はなんと千人を越え、開催場所は、ホテル内に千人収容可能な研修会場を持ち合わせる大津プリンスホテル。写真を見てお分かりの通り、それはそれはただっ広く、後ろの方で聞いていた私から、いちばあ〜ん前で喋っているシンポジストの方々はゴマ粒のように見えました。声はもちろん、マイクを使っているのに、真後ろでもびんびんに聞こえていましたが、あまりの広さに圧倒されつつ、福祉の最先端話、私のアタマにしっかりと叩き入れてきた内容をご報告します！



## 報告

平成15年度、福祉の世界に支援費制度が導入され、フォーラムでは主に、この「支援費制度」にスポットがあてられた。厚労省の担当職員、施設解体宣言をした宮城県知事の浅野氏(元厚労省障害福祉課課長)、福祉に携わるトップの面々。神奈川県川崎市在住の自閉症の息子さんがいる明石洋子さんも、親の立場からシンポジストとして参加されていた。

聞き慣れない「特区」という言葉を聞いた。現在、入所施設を利用する人(施設で暮らす人)は夏休みなどに帰省した時にホームヘルプ(居宅の支援費)が全く使えない事から、滋賀県が国へ「選べる福祉サービスを」と要望した結果、一定の地域が「特区」として認められ、施行されている。「特区」とは、平たくいうと、おためし制度を使うことのできる地域をいう。利用者主体の支援費制度では、現在は時間単位で支給されているものを、「特区」では日額単位で支給する仕組みとなっている。

「選択」「自己決定」「契約」が、これからの福祉サービスのキーワードになっている。育ちの中での個別の支援教育計画。本人自立に向けての支援費制度。自分の意思を明確に表現できない人の人権を守るべく生まれた成年後見制度、権利擁護事業。これらは全て「契約」であり、特に小さい子どもをもつ親たちは、この「契約」というものに早い時期から慣れることが大事である。我が子が幼児の時より、将来、どのような生活をしてほしいのかを、しっかりと踏まえておくことが大切。それには親の子離れと自立が大事であると、全国地域生活支援ネットワークの曾根氏は話す。

福祉制度が40年ぶりに改正され、支援費制度が導入された。しかしこのことで、国の年間予算を、たった4ヶ月で使い切ってしまった。残りの8ヶ月分の支援費予算は、なんとか別の予算から組み入れ、15年度は乗りきることができたと話すは厚労省担当者。同氏は言う。各市町村の使い方を見ると、支援費受給をただやみくもに振りまいている市があり、これは問題。かと思えば、時間を一定一律に受給している市もあり、こちらは憲法違反と指摘する。受給する市町村側の判断格差が激しく、本来の使い方がなされていないと問題点を述べた。

平成17年度は、支援費制度がガラリと変わるようだ。とにかく、国会(予算を決める)や厚労省(事業内容を決める)はもとよ



ホテルから見える琵琶湖がまぶしい・・・

り、私たちは、自分の街の障害福祉課から目を離してはいけません。互いに話し合う努力が必要であると、進行役コーディネーターの全国地域生活支援ネットワークの福岡氏は話す。

国の予算を決めるのは、国会議員。財政難の中、今のままでは支援費が潰れてしまう。この先、足りない支援費予算をどこからもってくるのか。「消費税をUPして税金から組み入れるべき」と主張するのは公明党の榎屋氏。「40才から引かれている介護保険の枠を25才あるいは20才から引き下げ、保険から組み入れるべき」と主張するのは自民党の衛藤氏と民主党の山井氏。

かくして、「生まれたばかりの支援費制度。されどこの先、国にはお金が無い(現状の仕組では、税金から捻出することは無理)。新しい嫁入り先(予算の組み入れ先)はいずこへ？」と話すは大阪大学大学院教授の大熊氏。介護保険に支援費を嫁がせ、「支援」と「介護」という属性の違うものに無理矢理組み入れれば、問題はいくつもあると指摘し、「導入」なのか、それとも「統合」なのか、それとも全く別の新しい制度に生まれ変わるのか？を論じていた。

「障害者も高齢者も住み慣れた地域での暮らしが実現できるような新しい制度設計について、直接に向かい合うべき時に至っている。支援費制度で始まった地域生活支援を更に当事者中心のシステムに発展させる。どんなに重度の障害があっても、すべての人が地域の中で共に育ち、学び、働き、生活できる制度にするために、主体的・積極的に議論に参加する。支援費制度と介護保険制度の見直しは、国民全体を巻き込んだ議論を展開することによって、障害者福祉に対する国民的理解が深まり、障害者福祉の新しい流れをつくる重要な事柄である。(抜粋)」全国地域生活支援ネットワーク代表の根来氏は、フォーラム実行委員全員でこれを宣言し、2003年度2月20日～22日の3日間に渡るアメニティーフォーラムは千人の参加者の拍手とともに幕を閉じた。

## 感想

昨年度、支援費制度が導入され、私たちが求めてきた「安心して暮らせること」に一步、近づいてきたとほっとしたものつかの間、国にお金が無いために、この先は残念ながら安泰ではなさそうです…。

平成17年度には、支援費は介護保険に組み入れられます。支援費制度という画期的な制度が介護保険と一緒にすることによって、いったい何がかわるのか？新たな制度が施行される前に、厚労省の動きを見据えて、使い手となる私たちが、声をあげなければならないこともあり得えます。私たちは今まで以上に、障がい福祉から目を離してはいけません。

支援費指定事業所であるトムトムは今年度、この制度のおかげでやっと運営的緩和が見込まれたのもつかの間、この先、支援費単価の引き下げが確定しています。(まだまだ下がる！？)またトムトムは運営難に逆戻り！？…とんでもない話です。ついつい、経理を司る私はお金のことが出てしまいますが、支援費＝人件費等、お金が発生します。よりよいサービスを提供していくにはイコールお金なんですねえ…。えげつないですか？ トムトムが設立以来、掲げてきた理念の中に「地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。」なのであります。

莫大な国家予算を削るべく、コロニー(施設だけが集まった場所)解体の目的は、地域へ帰ることと掲げ、この先は地域に戻って暮らす障がい者の方々。支援費を先細りにしては、この方々も地域に食らいつく私も、生きてはいけません。親亡き後も、住み慣れた街で「必要なサポート」を受けながら生きてほしい。トムトムが、親たちが望む、これが「普通の暮らし」なのです。

フォーラムに参加し、黙って待っているだけでは、勝手に決められてしまう危機感を切実に感じました。聞き手の面々には、地元の親御さん方もいましたが、施設職員や、福祉に携わる当事者以外の方々が圧倒的に多く見受けられました。できることなら、当事者の皆様にも是非、このアメニティーで聞いて感じてほしいと強く思いました。されど滋賀は遠く、お金もかかり、そう簡単に障がい児・者をもつ親が行ける所ではないと、私が一番実感もしています。トムトムで研修に行かせていただき、心より感謝し、支えてくださった方々に、この場を借りてお礼申し上げます。そして私に課せられた任務とは、こうして今読んでくださる皆様に現実をお伝えすることと思い、私のつたない文章ではありますが、アメニティー研修報告とさせていただきます。ありがとうございました。







今春、トムトムとの契約期間が終了し、常勤としての職務から離れる事となりました。今後は、非常勤としてトムトムのお仕事をさせて頂く事になります。

さて、トムトムで常勤として働いた期間は約10ヶ月間になります。10ヶ月しかない・・・と言うととても短い期間です。しかしこの10ヶ月間は、私にとって1年にも2年にも感じられる位、多くの事を感じ、学ぶ場でもありました。それを、利用者さんの求めるサービスに反映する事が出来ないかと思い、また自分の未熟さゆえにご迷惑をかける場面があった事を、この場を借りて謝りたいと思います。また、自分をフォローし、アドバイスしてくださった、スタッフ、また利用者さんに御礼を申し上げます。

トムトムで印象に残った事があります。それは、トムトムの常勤・非常勤の職員が、いかに利用者さんの満足かつ快適な利用内容を考えるかという姿勢です。利用をただ受ければ良いのではなく、その子の個性・身体状況等にあった利用内容をご家族の意見を元に考える姿勢…。常勤だけでは無く、ときには非常勤も積極的に意見を出す雰囲気はとても熱いものがありました。同時にトムトムに対して、利用者さんのご家族が、様々な形でトムトムを支え続ける姿も強く印象に残りました。

このスタッフとご家族の熱い思いに背中をあと押しされながらなんとか仕事をする事が出来たかなと思います。非常勤となりますが、今後もよろしくお願ひします。

## リレートーク

香織と共に

真下 祐子

早いものでこの春、娘の香織は養護学校の中学部を卒業し高等部へと進学しました。同じ学校なので大きな環境の変化もなく安心して4月の入学式に臨みましたが、義務教育を終えひとつの節目を迎えたということで、母としてはあらためて香織と歩んできた15年間を振り返る機会となりました。

今となってはとても辛かった時期のことも冷静に思い起こせるようになりましたが、やはりまだまだ切ない思いがあります。1歳過ぎまでは本当に順調に成長していた香織が、徐々に手の機能を失っていき手を揉むような動作を繰り返すようになり不安を募らせていった頃のこと、そしてあちこちの病院を廻り病名がはっきりするまでのこと、『レット症候群』という初めて聞く病名に戸惑い、”治療方法もなく重い障害をもたらす”と告げられたときのこと。障害受容の入り口でしばらく茫然としていた自分がありました。私の人生の中でも一番つらかった時期かもしれません。その後も、だんだんと歩行が難しくなり車いすでの生活になっていったこと、側弯の進行等々いろいろなことがあり、その都度親としては身の削られるような思いで過ごしてきました。でもそんな中で本当に良き仲間たち、良き理解者に恵まれ、いっぱいのパワーをいただきながらなんとかここまで無我夢中で育ててきました。そしてもちろん香織との楽しい思い出も沢山できました。お外が大好き、風が大好き、水が大好き、プールが大好き、そんな香織と一緒にいっぱい遊びました。香織の笑顔が沢山見たくて、そして人が当たり前に経験する事を香織にもより豊かに経験させてあげたくて、おかげで、身体のハンディは年々重くなっているけれど、香織の笑顔は年々増えてきているような気がします。

香織はすっかり身体も大きくなり、今は入浴の介助など多くの人のお借りしながら生活しています。そんな中で香織の理解者がひとりでも多くなっていくことがとてもうれしく思います。最近メディアなどでも自閉症、ダウン症、学習障害等々様々な障害児者のことが取り上げられ、以前に比べるとだいぶ障害児者に対する認知が高まってきていると思います。しかし香織と共に生活している中で、まだまだ奇異の目でみられることも多々あります。私にとって娘の香織が障害をもっているということはほんの偶発の出来事であったかもしれないけれど、この偶発を必然に変えるべく、様々な障害児者への理解を深めることが私の使命ではないかと最近考えるようになりました。香織との生活を大切にしながら、そして3年後の高等部卒業後のことも考えながら、微力ではあるけれど自分の出来ることから始めていきたいと思っています。

### レット症候群とは？

娘の病名『レット症候群』まだまだあまり知られていないので紹介させて下さい。  
この病名は1965年、ウィーンの小児神経科医アンドレアス・レット博士によって発見されました。女の子だけにおこる中枢神経系の発達障害で、女児10,000～15,000人に1人の割合で発症します。殆どが突発的と言われ、日本には5,000人の患者がいるものと推定されます。はじめは普通に成長していたのに、生後6ヶ月から1歳6ヶ月の頃に突然発症し、それまでに獲得していた手の機能や言葉を失ってしまう難病です。常に手を揉んだり叩いたり口に入れたりする常同運動を伴うことが特徴です。1999年に米国より原因遺伝子が発見されたという朗報がもたらされ、親の会の期待も一段と高まりました。

# リレートーク

小川原 寿恵

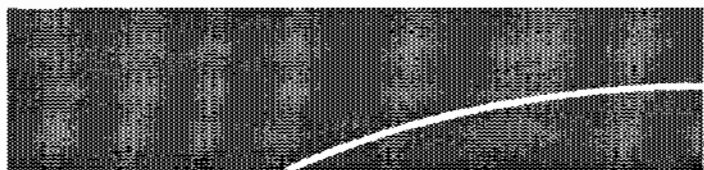
実は今、密かに「冬のソナタ」にはまっています。テレビを見る心のゆとりが持てるなんて思いもよらない事でした。トムトムさんのおかげです。

トムトムさんの存在は、息子（小3）が入学する頃から知っていました。その頃、息子の面倒は母の私が責任を持って見なくては、と考えていたので、トムトムさんとの契約は全く考えていませんでした。だから、生活のほとんどを息子のためだけに使っていました。

1年前に支援費制度がスタートし、恐る恐るトムトムさんに息子をお願いする事にしました。他人に子供を任せる事に慣れていない母なので、無茶苦茶なプランばかりたてて、ご迷惑をかけてばかりです。

そんなこんなで1年が過ぎ、我が家に少し変化が…。息子は、トムトムさんとでかける前日、母の作るスケジュールを見てうきうき。ヘルパーさんの写真と駅の写真を持って来て、「デンク（電車）、オデカケ。」とリクエストする事も、母の写真を出して、「ヘルパーさん行かない。お母さんで行く？」と聞くと、母の写真を投げ捨てるというショッキングな事もしてくれそうです。姉（小5）はすっかり福祉ツウになり、お友達に「支援費使っで…」とか「ヘルパーさんがね…」とか話しています。もちろんお友達は「??」です。母は、大人のテレビをじっくり見るゆとりが出来ました。そして、一番の変化は夫です。夫はずーっとヘルパーさんに息子をお願いする事に反対していました。自分の子は自分で見る、という考えです。でも、4月になって、自宅の駐車スペースにヘルパーさんの車を止める事を許可してくれました。息子の成長を見て、少し考えが変わってきたのかも？1年後が楽しみです。

今後どうぞ宜しくお願いします。



## 通常総会開催のお知らせ

2004年度通常総会を下記のとおり開催します。正会員の方は万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いいたします。ご欠席の正会員は、定款第29条にもとづき、他の正会員を代理人として評決を委任する旨表記した委任状をご提出下さい。利用会員、賛助会員の方も、議決権はありませんが傍聴可能ですのでご参加くださいますようご案内申し上げます。

1. 日時：2004年5月30日（日）10：00～
2. 会場：茅ヶ崎市役所分庁舎 B会議室（5階）
3. 審議事項

- ・ 2003年度事業報告
- ・ 2003年度収支決算報告
- ・ 役員選任
- ・ 2004年度事業計画（案）
- ・ 2004年度収支予算（案）



正会員を募集しています。

正会員とは、NPO法人パーソナルサービスセンタートムトムの総会の議決権をもちます。任期は2004年4月1日から2005年3月31日までとし、正会員費は、¥110,000円です。トムトムの運営にお力添えを頂きたく、何卒、よろしくごお願い申し上げます。

# 2003年度 ご支援ありがとうございます

## ボランティア各位

4月 五十嵐様 佐藤様 鎌田様 小澤様 浅倉様 川島様 松崎様 榎元様 加藤様 杉崎様 前田様 謝花様 清水様 藤田様 南様  
内田様 幸崎様 5月 佐藤様 内田様 荒川様 清水様 荒川様 6月 関谷様 浅倉様 佐藤様 榎元様 早川様 五十嵐様 大木様 早  
川様 高橋様 市川様 清水様 近藤様 中島様 中嶋様 八幡様 松崎様 下川様 前田様 小林様 岩崎様 内田様 川島様 小澤様  
関谷様 平藤様 榎本様 道躰様 7月 五十嵐様 清水様 関谷様 浅倉様 道躰様 平藤様 武田様 佐藤様 伊藤様 関口様 岩崎様  
田野様 滝口様 榎元様 角田様 金子様 8月 竹田様 市田様 角田様 大槻様 山本様 沼田様 木暮様 岩崎様 榎元様 山崎様  
マーク様 星様 関谷様 石井様 大槻様 草ヶ谷様 福元様 山崎様 市田様 金子様 滝口様 金子様 柳生様 和田様 前田様 久保  
田様 滝沢様 9月 山崎様 高山様 松尾様 榎本様 佐藤様 関矢様 10月 榎元様 鈴木様 関矢様 11月 榎本様 関矢様 加藤様  
12月 関矢様 榎本様 浅倉様 伊藤様 品田様 宮地様 1月 宮地様 市田様 品田様 榎元様 山口様 2月 市田様 山口様 榎元様  
3月 村岡様 榎元様 松岡様 波多野様 伊藤様

## 賛助会員各位

4月 鎌田様 高橋様 5月 澤田様 7月 横山様 井口様 8月 石井様 9月 深川様 山本様 長崎様 10月 飯尾様  
12月 河合様 小泉様 石田様 小川様 小澤様 中島様 加藤様 溝口様 棚田様 みんなのいえ・清水様 朝倉様 上杉様  
若菜様 高雲様 岩崎様 大野様 野田様 山本様 野呂瀬様 清水様 依田様 中川様 木暮様 近藤様 上野様 深沢様  
北九州後協会曾根集会所様 匿名希望様 大田様 藤田様 石野様 喜志様 柏原様 鎌田様 山上様 服部様 山本様 浜  
野様 障害者地域作業所第2木曜クラブ様 田和様 1月 岩崎様 下川様 森田様 岸様 山形様 後藤様 白川様 横山様  
2月 清水様 サポートセンターぴっころ・安井様 植木様 3月 益永様 藤田様 新倉様 甲斐田様

## ご寄付各位

4月 五十嵐様 佐藤様 清水様 富岡様 5月 佐藤様 清水様 井口様 6月 五十嵐様 佐藤様 清水様 富岡様  
7月 五十嵐様 清水様 浅倉様 玉様 佐藤様 井口様 岩崎様 角田様 岩崎様 佐藤様 8月 朝倉様 角田様 岩崎様  
佐藤様 木暮様 あーちゃんズ様 石井様 草ヶ谷様 来山様 上杉様 沼田様 加藤様 佐々木様 井口様 久保田様 前田  
様 滝沢様 9月 佐藤様 10月 佐藤様 井口様 11月 加藤様 井口様 佐藤様 12月 田中様 竹内様 朝倉様 茅ヶ崎  
高校OB吹奏楽部様 金澤様 福島様 慶応義塾大学様 1月 佐々木様 幸崎様 餅田様 小増様 堀越様 川戸様 大木様  
田様 伊藤様 岩崎様 安田様 島田様 井口様 土屋様 河野様 三橋様 小林様 中島様 上間様 吉留様 渡辺様 木暮  
様 マーク様 松尾様 成田様 角田様 為成様 吉島様 小菅様 岸様 須藤様 杉崎様 山田様 伊藤様 木増様 鈴木様  
伊藤様 畔津様 木下様 五十嵐様 角田様 大木様 彦坂様 上野様 杉崎様 北樹様 西原様 大坂様 玉様 高橋様 堀  
越様 大塚様 鍛様 福島様 金子様 後藤様 清水様 高橋様 浅倉様 鍛様 早川様 市川様 中島様 八幡様 松崎様  
下川様 前田様 内田様 川島様 おやじの会・ジョンチャムコンサート様 2月 藤田様 乾様 井口様 3月 種田様 上杉様  
大野様 稲葉様 井口様

トムトムを支えてくださり、ありがとうございます。  
今後も、よりよい街づくりのためにトムトムはがんばりますので  
引き続き皆様のご厚情、ご支援のほどよろしくお願いたします。

## 賛助会員を募集しています！

トムトムは神奈川県茅ヶ崎市で1999年7月に設立しました。ハンディキャップのある方と、そのご家族の為のパーソナルサービスセンターです。運営には、多くの皆様の温かいご厚意を必要としています。トムトムでは側面からマネージャー（賛助会員）として応援して下さる方を募集しています。年会費は個人・団体共に一口3千円です。会員になって頂いた方には、不定期ですが、トムトムの会報誌「トムトム通信」をお送りします。どうぞよろしくお願いたします。

郵便局口座番号 00290 -3 -47042

加入者口座名義 特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム

※ お振り込みの際には、郵便局の窓口にある赤色の振込用紙をお使いくださると、手数料が、かかりません。

## NPO法人 パーソナルサービスセンター トムトム

〒253-0071

神奈川県茅ヶ崎市萩園1624-2

電話/fax 0467 (58) 8335

携帯電話 090-3087-3220(緊急用)

Email tom-tom@alto.ocn.ne.jp

トムトムホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Momiji/8837/index.html>